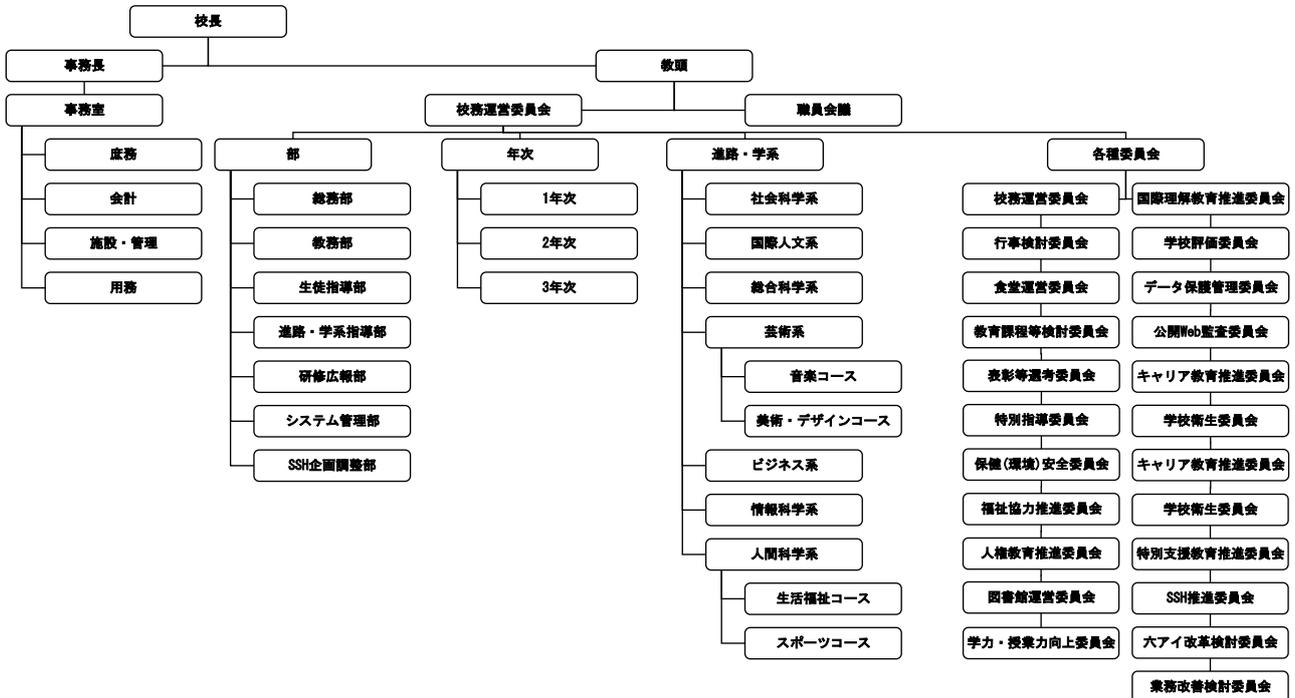


1. SSH 推進に関わる部署等の学校組織上の位置付け



校長主導の下、平成 24 年度に校務分掌上の部署として SSH 企画調整部を立ち上げた。今年度は 3 名の教員(理科 2 名・英語科 1 名)が SSH 事業に関する企画・連絡・調整の中心として機能している。SSH 推進委員会も立ち上げ、平成 30 年度は教頭 2 名、SSH 企画調整部 3 名、進路学系指導部長、進路学系指導副部長、社会科学系主任、国際人文系主任、情報科学系主任、総合科学系主任、芸術系主任、芸術系音楽コース長、ビジネス系主任、情報科学系主任、人間科学系主任、人間科学系スポーツコース長、1 年次代表 2 名、2 年次代表 1 名、3 年次代表 1 名の 21 名で組織した。今年度は各系長・コース長が SSH 推進委員会に入ったことで、SSH で蓄積したノウハウを活かした神戸学に向けての取り組みを更に推進した。来年度より始まる総合的な探究の時間の実施に向けて、これまで行ってきた神戸学をより探究的で深い内容にしていきたい。

また、神戸市教育委員会の支援により、平成 25 年度から SSH に対する目的加配の常勤講師 1 名が配当されている。SSH 企画調整部を 2 名から 3 名に増員している。

2. 教員の理解や協力を得るために行った取組

教員の SSH に対する意識や理解を高めるため、SSH の取組をまとめた広報誌 SSH NEWS を定期的に発行し、取組内容を積極的に掲載することで、教員の SSH に対する理解向上の材料として活用している。また、海外研修の結果など全校体制の取組については積極的に校内向けに情報提供を行った。さらに、English Island など英語科が中心となっていく行事を設定し、理数系以外の教員にも事業を推進してもらった。

本校以外の教員の理解や協力の拡大をねらい、今年度は「神戸サイエンス」や「サイエンス英語」をテーマに神戸市立高等学校教育課程研究協議会理科部会において実践報告を行った。